

燕市産業史料館で「キャディスプーン展」を開催

－アンティークなキャディスプーン 100 点を初展示します－

燕市産業史料館では、「キャディスプーン展」と題した企画展を12月3日から1月16日まで開催します。キャディスプーンは、茶葉をティーポットに入れるために18世紀後半にイギリスで作られたもので、紅茶文化に欠かせないアイテムとして3世紀にわたり使用されてきました。本企画展では、年代や産地ごとに独特な美しさを放つキャディスプーン100点を当史料館で初展示いたします。

【「キャディスプーン展」の概要】

- 1.会 期：12月3日（金）～1月16日（日）
※休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、
年未年始（12月29日～1月3日）
- 2.時 間：午前9時～午後4時30分
- 3.会 場：燕市産業史料館 企画展示室
- 4.内 容：本企画展は東京のキャディスプーンコレクターのコレクションを展示予定です。
アンティークなデザインのキャディスプーンも多数展示いたします。
当館では初めての展覧会となります。
- 5.展示数：100点
- 6.入館料：大人 400円、小・中・高校生 100円
〔 ※市内小中学生と付き添いの保護者1人は、
ミュージアムパスポートで土・日・祝日無料 〕



【キャディスプーンとは】

キャディスプーンは世界の四大嗜好品の一つである茶文化を彩るアイテムで、「キャディ」は“茶葉の缶”を意味します。かつてイギリスでインドから輸入した紅茶をより分けるために貝殻を使ったことから、貝を模したスプーンが多く使われるようになったとされています。

本件についてのお問い合わせ先

燕市産業史料館：齋藤

電話：0256-63-7666（直通）